

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	成年後見制度への理解を職員、家族へ周知できていない。	制度の理解を得ることで、安心した生活が継続できる事を職員、家族へ理解してもらう。	成年後見制度を理解し易く作成されたパンフレット等を玄関先に配置するなどして、気軽に手に取り、周知できる環境を整える。 職員向けに成年後見制度の研修を実施する。	12ヶ月
2	33	契約時における当法人の看取りへの方針を伝え、同意書もらっているが、家族からの意向が書面化できていない。	入居時に伝え、事業所、家族双方が安心して生活できるよう、書面にて確認していく。 入居後の意向も確認し、気持ちの変化を把握していく。	事業所のできる事、できない事を契約時に伝える書式を作成する。また、入居者、家族の意向も確認し、記録化する。 ケアプラン見直し毎に、看取りに対する意向を確認し記録化する。	12ヶ月
3	48	生活歴のアセスメントを実施しているが、アセスメントを活かした関わりが不十分。	生活歴を把握し、各入居者の生活歴に応じた役割を持ってもらう。	生活歴を再アセスメントし、より深い情報を把握する。各入居者に現在の状況で無理なく、出来る役割を持ってもらう。	12ヶ月
4	49	日常的な外出、遠方への外出支援を実施しているが回数が少ない。	各入居者の希望、長年馴染んできた場所や地域へ出かけ、楽しみ、刺激が持てるような生活を支援する。	入居者本人、家族、介護者から聞き取りを行い、具体化していくためのチームを作る。コミュニケーションなどで、思い、希望をしっかりと記録に残す。 外出には事業所のみで対応するのではなく、様々な社会資源を活用する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。